

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス熊谷教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月20日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性を的確に捉えた計画的な支援提供	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所独自のアセスメントツールを活用し、保護者面談・日々の行動観察・日報を通じて多面的に子どもの状況を把握している。 ・ニーズに応じて日々の個別療育や祝日の個別支援のイベントを柔軟に組み合わせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント結果や支援の成果を、保護者により分かりやすくフィードバックする機会を増やす。 ・成長の見える化(できるようになったことの整理・共有)を進め、家庭と教室の連携を一層強化していく。 ・移行支援・地域支援についても、将来的なニーズを見据え、情報提供体制の整理を行っていく。
2	子ども・保護者双方との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の対面での振り返りを基本とし、日々の様子や小さな変化も保護者に伝達している。 ・電話や面談の機会を柔軟に設け、保護者の不安や悩みに共感的に対応している。 ・子どもの良い行動や成長を積極的に言語化し、保護者と共有することで、家庭と連携した支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時だけでなく、定期的な振り返り資料やコメント等を通じて、支援内容の共有方法を多様化していく。 ・保護者が相談しやすい環境づくりを継続し、声を拾い上げる仕組みをより明確にする。 ・家族支援や情報提供について、アンケート結果を踏まえ、必要とされる形を検討していく。
3	安心して通所できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の構造化や掲示の工夫により、子どもにとって分かりやすく落ち着いて過ごせる環境を整備している。 ・毎日の清掃・消毒、安全点検、マニュアル整備・防災訓練を継続的に実施している。 ・送迎時の対面での振り返りや、電話・面談を通じて、保護者と日常的な情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や安全計画について、通信や掲示を活用し、保護者への周知をより分かりやすく行う。 ・家族支援や保護者向け情報提供について、ニーズを踏まえた形で方法を検討していく。 ・地域との関わりについても、行事やイベントを通じて無理のない形で継続を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・外部の子どもとの関わるの機会が限定的である点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童の特性や安全面への配慮を優先し、交流の機会を慎重に設定してきた。 ・定期的・継続的な地域交流の枠組みを事業所として構築できていない。 ・保護者の中には、交流を積極的に望まないケースもあり、実施判断が難しい状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用や外出レクリエーション、地域イベント参加など、小規模・短時間からの交流機会を検討する。 ・事前に保護者の意向確認を行い、希望者を対象とした形で段階的に実施する。 ・交流の目的や配慮事項を明確にし、安心して参加できる形を整えていく。
2	保護者同士の交流・家族支援プログラムの実施が限定的である点	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流を望まれないケースもあり、実施に慎重になっている。 ・保護者支援について、個別対応を中心としてきたため、集団的な取組が少ない。 ・家族支援プログラムや研修等について、情報発信が十分でなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体参加型ではなく、希望制・テーマ別の情報提供やミニ講座等を検討する。 ・研修や支援内容について、通信やホームページ等で分かりやすく周知する。 ・個別支援を基本としつつ、必要に応じて保護者同士が緩やかにつながれる機会を模索する。
3	取組内容や訓練・安全対策に関する「保護者への見える化・周知」が十分でない点	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル整備や訓練自体は実施しているが、実施内容や目的を十分に伝えきれていない。 ・掲示や配布資料を中心とした周知にとどまり、確認の機会が少なかった。 ・情報量が多く、保護者にとって把握しづらくなっている可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や安全対策の実施内容を、通信やブログ等で簡潔に報告する。 ・新規利用時や年度初めに、重要事項を整理して再周知する機会を設ける。 ・保護者からの質問や不安を拾い上げ、情報提供方法を見直していく。